

## 選手の“自立”を第一に考えましょう。 過保護、過干渉は選手にとってマイナスです！！

### 1,選手との距離感を保ちましょう

- 『自立』のために選手のみで判断、行動を行えるように働きかけていきましょう。
- 活動の準備にしても可能な限り本人が自分で計画して行えるようにしましょう。

### 2,反抗期なのか甘えなのかの見極めをお願いします

- 選手の反抗的な態度に対して、自立へ向かう過程の自己の意思の尊重である「反抗期」なのか、ただ怠慢な行動を欲する『甘え』なのかの見極めが非常に大切だと考えます。反抗期であればしっかり向き合い、甘えであればしっかりと伝える必要があると考えます。

### 3,試合の勝敗のみでの感想はやめましょう

- 週末の試合のみ観戦して『勝った』『負けた』の結果のみで感想を伝える事はやめましょう。あくまで結果を通過点と捉えいかなる結果であっても次に繋がる働きかけをしましょう。

### 4,プレーについては聞き役に徹しましょう

- 特にサッカー経験のある親御さんのご家庭での指示はやめましょう。プレーは頭で理解できていても表現できないシーンがたくさんありますし、グラウンドでも様々なテーマに基づいて試合を行うこともあります。また、その指導・指示は、コーチの役割です。家にまでコーチがいたら選手はたまりません。プレーに対してはあくまで聞き役に褒めることに徹しましょう。

### 5,クラブへのサッカー内面的な意見は選手に委ねましょう

- 選手起用や戦術・練習方法などその他サッカー内面的なことに対して保護者のご意見は厳禁です。選手の自立・成長を目指すうえでマイナス要素にしかありません。
- いかなる場合も選手が自分で解決できるように選手とコーチでコミュニケーションを取りながら、更には自分自身で意見や質問ができるように働きかけをお願い致します。

### 6,試合中は、応援のみ選手にお届け願います

- 昨今、ジュニアユース年代でも問題となっております、試合時における保護者の観戦マナーです。試合中に、選手に対する指示の声(サイドコーチング)や審判のジャッジに対するクレームや異議は厳禁です。全力でプレーする、選手の成長の妨げになります。試合中は選手を励ますご声援のみをお届けください。

以上、保護者のサポートは選手の成長へ大きく影響するもので、見守る大らかさ、自立を促す我慢といった形のサポートをお願い致します。このサポートこそ選手を成長させる大きな力となり近い将来何らかのプラスの変化に繋がります。選手のためにも遵守・ご協力の程をお願い致します。